

東京国立 博物館 ニュース



特別展 Information

「タイ ～仏の国の輝き～」

「フランス人間国宝展」「運慶」…… 2

親と子のギャラリー「びょうぶとあそぶ」…… 4

トーハクキッズデー…… 4

特集「平成28年度新収品展」…… 5

トーハクの新国宝&新重要文化財…… 6

総合文化展 Pick Up

(本館/東洋館/平成館/法隆寺宝物館/黒田記念館) …… 7~11

保存と修理情報④ …… 11

みどりのライオン(教育普及事業) …… 12~13

トーハクくんのなるほトーハク …… 13

イベント&インフォメーション …… 14~15

2017年6-7月の展示・催し物 …… 16



今号の名品



「風神雷神図屏風」

3ページに
掲載してるほ!



TNM

特別展 Information



仏陀遊行像

スコータイ時代・14～15世紀
サワンウォーラーナーヨーク国立博物館蔵
しなやかに歩く仏陀像はウォーキングブッダとして知られます



仏陀坐像

スコータイ時代・15世紀
サワンウォーラーナーヨーク国立博物館蔵
広い肩幅と厚い胸板を持った超人的な仏陀が、悪魔を退ける姿です

日タイ修好130周年記念特別展

「タイ ～仏の国の輝き～」

ユニークなタイの仏像の特徴とは？

タイと日本は同じく仏教を信仰しながら、タイは上座仏教、日本は大乗仏教という違いがあります。その違いにより、タイでは、釈迦を表した仏陀像が多く作られました。タイの仏像の造形にはいくつかの特徴があり、頭上にラッサミーと呼ばれる火炎型の飾りをつけています。また手のしぐさで意味を表す印相は、右手の指先を地面につけて悪魔を撃退する降魔印が好まれました。そして、仏陀が歩くさまを表した遊行像こそは、タイの仏像を代表するものでしょう。このポーズは仏陀が天界から帰ってきた姿とされています。珍しいユニークな仏たちをお楽しみください。(猪熊兼樹)

7月4日(火)
▼
8月27日(日)
平成館
特別展示室

関連イベント

*すべて会場は平成館大講堂、無料(ただし本展覧会の観覧券が必要。半券でも可。開場は開始の30分前)

タイ芸術舞踊団来日特別公演「煌めきのタイ～古典舞踊と音楽の世界」

日時:7月4日(火) ①11:00～12:00 ②14:00～15:00 定員:380名(先着順)

国際シンポジウム「タイの仏教美術と王権」**事前申込**

日時:7月15日(土) 10:00～16:00 定員:380名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
申込方法:展覧会情報サイトのフォームでお申込みください 申込締切:6月15日(木) 必着

記念講演会「仏の国の歩み」

日時:8月5日(土) 13:30～15:00 講師:猪熊兼樹(出版企画室主任研究員)
定員:380名(当日11:30より、大講堂前にて指定席券を配布)

*講演会開始後に空席があった場合はキャンセル扱いとし、他のお客様をご案内する場合があります。

|開催概要|観覧料:一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1000円/900円)、高校生900円(700円/600円)*()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください)*前売券は7月3日(月)まで、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、展覧会情報サイト、主要プレイガイドほかにて販売/お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600/展覧会情報サイト <http://www.nikkei-events.jp/art/thailand/>

興福寺中金堂 再建記念特別展 運慶

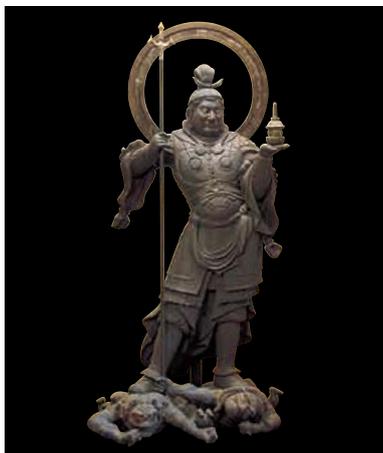
9月26日(火)
▼
11月26日(日)
平成館
特別展示室

史上最大の 運慶展、ここに!

運慶の作った仏像が何体あるかというのは難しい問題で、異論はあるものの31体が有力と見られています。この展覧会ではそのうち22体が登場するため、史上最大の運慶展と言っても過言ではありません。加えて父・康慶作11体、息子・湛慶作10体、康弁作2体(推定を含む)と、運慶一族で45体を数えます。さらに運慶風を継承した像なども合わせると計74体という、真正銘の大「運慶」展です。

運慶の名はよく知られていますが、伊豆、三浦半島、岡崎などに分散しているためか、仏像好き以外には、その偉大さはあまり認識されていないように思います。日本屈指というに留まらず、世界的な巨匠と言うべき存在です。ぜひ実際に対面して運慶仏の発する造形の力を体感してください。(浅見龍介)

|開催概要|観覧料:一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1000円/900円)、高校生900円(700円/600円)*()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください)*前売券は7月1日(土)～9月25日(月)、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、展覧会公式サイト、主要プレイガイドほかにて販売/お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600/展覧会公式サイト <http://unkei2017.jp/>



●毘沙門天立像

写真:六田知弘

運慶作 鎌倉時代・文治2年(1186)
静岡・願成就院蔵

実に38年ぶりの寺外公開となる、運慶の代表的な仏像のひとつです



●聖観音菩薩立像

運慶・湛慶作
鎌倉時代・正治3年(1201)頃
愛知・瀧山寺蔵
寺外初公開。寺伝では、源頼朝の供養のため造られた像といわれます

写真:六田知弘

フランス 人間国宝展

9月12日(火)
▼
11月26日(日)
表慶館

フランスが誇る 美の世界が表慶館に集結!

フランス文化・通信省は、日本にならい、1994年に人間国宝認定制度を創設しました。人間国宝の称号を得た職人は、伝統工芸の保存・伝承・革新を旨とし活動しています。本展は、革・鼈甲、羽細工、傘、扇、壁紙など15分野・各1名の作家を紹介する世界初の展覧会です。卓越した技と伝統、そして未来へと繋がる美の世界をご堪能ください。(熊谷美和)



扇「ホワイト・ウェディング」

シルヴァン・ル・グエン 2008年
個人蔵 © Stephen Jackson

本作は折り紙に想を得た花嫁用の扇。広げると一輪ずつ花が咲く立体的な装飾が施されています

|開催概要|観覧料:一般1,400円(1,200円/1,100円)、大学生1,000円(800円/700円)、高校生600円(400円/300円)*()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください)*前売券は7月1日(土)～9月11日(月)、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、展覧会公式サイト、主要プレイガイドにて販売/お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600/展覧会公式サイト <http://www.fr-treasures.jp/>

今号の名品
2017年6-7月号

重文 ふうじんらいじんずびょうぶ
風神雷神図屏風
5月30日(火)～7月2日(日) 本館7室

「貧に候えども、心楽にいたしたく候」
その言葉に見える、光琳のセンスが生み出した傑作



尾形光琳筆 江戸時代・18世紀



◎「夏秋草図屏風」酒井抱一筆 江戸時代・文政4年(1821)頃
※この作品の展示はありません

男として生まれ、幼い頃から能や茶道などさまざまな芸能に親しみました。日本の古典に精通した光琳は、それらの文化活動を踏まえて絵を描くことで、京都の貴族や町衆にたいへんよろこばれたのです。この屏風では、黄金の空間を金箔で表し、にじみの効果を生かした「たらし込み」という技

風を吹き出す袋を持つ風神と、太鼓を打ち鳴らして稲妻をおこす雷神が、鬼の形で互いに視線を交わらせながら描かれています。雷は急に振り出す驟雨(にわか雨)を生み出し、風は野分(白風)となって下界の人々や木々、草花を大きくゆり動かします。人々が怖れ敬う存在である天界の神々は、緻密に計算されたレイアウトで緊張感が張りつめた画面であるのに、どこかのどかな顔で描かれています。

日本古来の絵画表現であるやまと絵は、和歌などの文学に取り上げられた日本の自然の風景や年中行事を黒の輪郭線で描き出し、豊かな色で彩ります。光琳はそのやまと絵の世界にデザイン感覚鋭い斬新な構図で革新を生み出しました。

尾形光琳(1658～1716)は京都の高級呉服商「雁金屋」の次

法で描いた黒雲によって、天界に浮かぶ神々の存在感を高めています。そして両神は赤色の帯など、鮮やかな色彩の均質な色面で描かれています。このような光琳の画風は、後代の絵師たちに影響を与え続けました。現在ではその画風の流れを「琳派」と呼んでいます。琳派の絵は、日本の伝統的な絵画である「やまと絵」を究極までに洗練したものともいえます。

時を隔て、光琳を慕った絵師に酒井抱一(1761～1828)がいました。姫路藩主酒井家の子息である抱一は光琳画に傾倒し、その画業を顕彰しました。光琳の遺作を探索収集して、自ら光琳の画集『光琳百図』を出版するほどでした。そしてこの「風神雷神図」に直接話しかけるように、雷神図の裏に驟雨に打たれる夏草と、風神図に対応するように強風に揺れる秋草を描いています。(松嶋雅人)

『東京国立博物館ニュース』
名品スタンプラリー

『東京国立博物館ニュース』の発行(偶数月1日)にあわせて、2ヵ月ごとに1個、スタンプを集めてください。6個すべてのスタンプを集めた方には、もれなく記念品をプレゼントします。詳細は、スタンプ帳をご覧ください(スタンプ帳の配布は6月1日(木)～7月30日(日)、なくなり次第終了)。

★6・7月のスタンプ設置場所…
本館インフォメーション





親と子のギャラリー



高精細複製によるあたらしい日本美術体験
東京国立博物館×緞プロジェクト

夏休みは、日本美術を代表する名作で遊んでみませんか？映像や高精細複製品で、びょうぶとその作品世界を体感できる新しい展示です。子どもも大人も楽しめる、今までにない日本美術体験をぜひ！

本館
特別4室・特別5室
7月4日(火)
9月3日(日)

しょうりんずびょうぶ
松林図屏風を体験!

高さ約5メートル、直径約15メートルの半円形の大型スクリーンに映し出される映像と、高精細複製による松林図屏風で、長谷川等伯の描いた松林の風と匂いをリアルに感じてください。



くつをぬいで畳の上で屏風を楽しもう(展示会場のイメージ/©Prototype inc.)

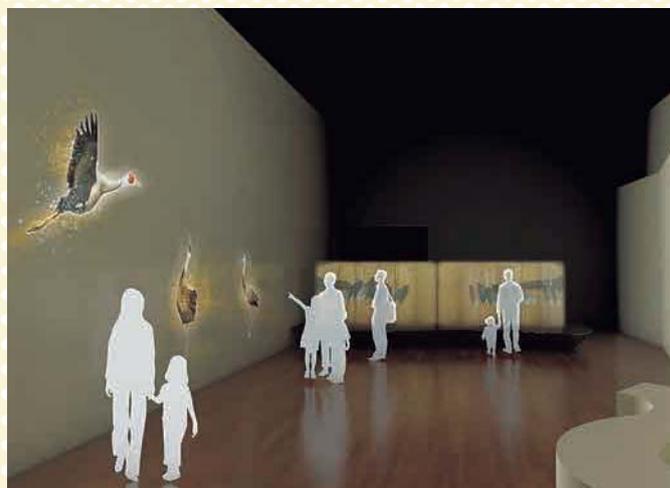


「松林図屏風」(緞プロジェクトによる高精細複製)
原本:長谷川等伯筆 安土桃山時代・16世紀 東京国立博物館蔵
複製:東京国立博物館蔵

主催:東京国立博物館、キヤノン株式会社 協力:京都文化協会

ぐんかくずびょうぶ
群鶴図屏風を体験!

展示室に入ると、大きなスクリーンに鶴が羽ばたき、地面に降り立ちます。そして、最後は屏風のなかへ。金屏風ならではの光の演出もお楽しみください。



光のマジックで金屏風にうっとり(展示会場のイメージ/©Prototype inc.)



「群鶴図屏風」(緞プロジェクトによる高精細複製)
原本:尾形光琳筆 江戸時代・17~18世紀 アメリカ・フリーア美術館蔵
複製:東京都美術館蔵

Facsimiles of works in the collection of the Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington, DC:Purchase, F1956.20, F1956.21

関連イベント ワークショップ「びょうぶをつくる」→13ページ そのほか、触って遊べるハンズオンやワークシートも用意

7月30日(日)は

トーハクキッズデー

歴史も規模も日本一の博物館トーハクなら、ミュージアムデビューも伝統文化体験も、とっておきの思い出を約束します！

● **子どものためのキャラリートーク**

博物館のお話/鬼のお話/トーハク動物めぐり/仏像のお話/刀とよろいかぶたのお話/考古のお話

● **お芝居仕立てのガイドツアー**

トーハク劇場へようこそ! (→13ページ)

● **子どものためのミニコンサート**

● **ワークショップ**

みんなで作る貼り交ぜ屏風(ぬり絵)/勾玉作り

● **見学ガイドアプリ「学校版トーハクなび」貸出**

見学しながらタブレットでトーハク新聞が作れます



● **キッズコーナー**

授乳や離乳食のためのスペースも開設します。この他託児サービス(事前申込制、有料)も実施します。

7月30日(日)

対象:0歳~中学生とその保護者

(小・中学生だけの参加も可)

入館料:一般620円/大学生410円

※高校生以下は無料、特別展は別途料金が必要

※子どもと一緒に来館された方は100円割引

特記以外はすべて当日参加(事前申込不要)、参加無料(ただし、当日の入館料が必要)

詳細はウェブサイトをご確認ください。



本館
特別1室・特別2室

6月27日(火)
7月17日(月・祝)

特集 平成28年度新収品展

昨年度新たに当館の収蔵品に加わった作品を展示し、文化財収集の成果と意義をご紹介します。今回はそのなかから5件の作品を選び、みどころを解説します。



『西遊記』の三蔵法師のモデル、玄奘三蔵を描いた絵

鎌倉時代・14世紀 山本達雄旧蔵品

唐の時代、密出国までして仏典の原典を求めてインドへ旅した玄奘三蔵。本図はそんな彼の姿を描いた図と考えられます。蓋をつけた笈に多数の教典を積み脚絆をつけた旅姿で、遠山を背景に歩く姿の画像は、現在、本図と重要文化財「玄奘三蔵像」(当館所蔵)の作例が知られるのみです。貴重な作品をこの機会に是非ご覧ください。(沖松健次郎)



和様の書を大成した藤原行成直筆の書状

◎書状

藤原行成筆 平安時代・寛仁4年(1020) 行成49歳の書。唯一現存する書状で、草名(花押の一種)が記されているのも本作のみです。昇進したお祝いに来られない、と相手を責めている内容にも関わらず、端正に筆を運び、楷書・行書・草書の配置や墨の濃淡のバランスが絶妙です。平安時代末期に、行成の書状は人気があったと記されていますが、その理由がわかります。(恵美千鶴子)



草名 (部分)



貴重な細密画のコレクション

サットサイシリーズ

ダティア派 インド 18世紀 鶴岡龍氏寄贈

この度コレクションに加わったインド細密画のなかでも、10枚からなる「サットサイシリーズ」は代表的な作品です(うち5枚を展示)。これはインド中部の藩王国、オルチャのマハラジャを主人公にした恋物語を絵画化したもの。ダティア派の画家によって18世紀の後半に描かれた作品で、このシリーズのまとまった例は他に知られておらず、世界的にも貴重です。(三田覚之)



皇帝のみに許された特別な五爪の龍

青花雲龍文方壺

中国 景德鎮窯 明時代・嘉靖年間(1522~66年)

中国の歴代王朝のなかでも最も繁栄したといわれる明時代には、景德鎮窯の生産も隆盛を極めます。この作品は宮廷用に焼かれたもので、ともに底に「大明嘉靖年製」銘が記されています。古代の青銅器に倣った形の壺で、皇帝を象徴する五爪の龍が濃く上質なコバルトで描かれており、格式の高さを感じさせます。(三笠景子)



(部分)

小さな画面に愛らしい鳥たちの姿が満載

雀の発心

室町~安土桃山時代・16世紀 美田悦子氏寄贈

むかしむかし、ある所に小藤太という雀がいました。妻子と幸せに暮らしていましたが、ある時、子どもが蛇に食べられてしまいます。鳥の仲間たちは慰めの和歌を詠みますが、彼はついに出家。念仏三昧の日々を送ったということです。室町時代に流行した「御伽草子絵巻」の一つです。ファンタジーに満ちた物語とともに楽しみください。(土屋貴裕)



シンシュヘンってなんだほ?

「新」たに「収」蔵された作「品」のことよ!

トールハク所蔵
新指定

国宝 & 重要文化財



トールハク所蔵の作品に、国宝1件、重要文化財4件が増えることとなりました。展示スケジュールをチェックして、新国宝、新重文をコンプリートしませんか？

新国宝

東大寺山古墳出土品

東大寺山古墳は、奈良県天理市にある全長約130mの前方後円墳です。出土した「中平」銘の入った大刀や、家形飾や花形飾がつく青銅製の環頭は、唯一無二の存在。青銅製や石製の宝器は質量ともに豊富で、4世紀の古墳時代を代表する出土品です。



金錯銘花形飾環頭大刀
刀身：中国製・2世紀
銘の「中平」は中国、後漢の年号(184~189年)であり、国内最古の象嵌銘文です。鉄刀は2世紀の作、青銅製飾環頭は4世紀に日本列島で作られました



環頭は花形(右)。東大寺山古墳出土品には、ほかに家形環頭(左)も出土しています



背には金象嵌銘「中平□□五月丙午造作文刀百練清□上應星宿□□□□」が施されています



石製台付埴
13点からなる埴形石製品は、国内最多数を誇ります。その中には埴と器台とが一体に作られた優品も含まれます

ここで見られます

「ヤマト(倭)王権の成立
—宝器の生産—」

6月20日(火)~12月3日(日)
平成館考古展示室



鍬形石・車輪石・石釧

南海産貝輪を祖型とする石製宝器です。鍬形石・車輪石・石釧の3種が揃うのは、被葬者の格の高さを示します

新重文

野毛大塚古墳出土品

野毛大塚古墳は、東京都世田谷区にある帆立貝形古墳(全長82m)です。明治30年(1897)に箱形石棺が発見され、そこから多数の石製模造品が出土しました。5世紀の南関東を代表する古墳として著名であり、現地は遺跡公園になっています。



滑石製槽
導水施設の中心部を模したとされる石製品です。奈良県明日香村の「酒船石」に似ていると思いませんか？水の祭祀を再現するために作られた、他に例のない作品です



滑石製下駄
祭祀場で清らかな水を汚さないため、首長が下駄を履いたとする説があります。滑石製の下駄は、出土例が少なく貴重です



滑石製刀子
232点以上あり、東日本最大数を誇ります。忠実に模倣した精巧品から粗雑品まで、その形は様々です

ここで見られます

特集「新指定 重要文化財
野毛大塚古墳
—世田谷の中期古墳—」

7月11日(火)~9月10日(日)
平成館企画展示室

今後の展示予定



10/24(火)~12/3(日)

新重文

松岡屏風
伝土佐光信筆
室町時代・16世紀
本館特別2室

(部分)



2018年
1/2(火)~2/4(日)

新重文

鳥獸戯画断簡
平安時代・12世紀
本館3室



2018年
1/2(火)~3/18(日)

新重文

白磁蝶牡丹浮文大瓶
三代清風与平作
明治25年(1892)
シカゴ・コロンプス世界博覧会事務局
本館18室

Pick up!

本館

東国武士の生き様、見せます!

重文 男衾三郎絵巻

7月11日(火)～8月20日(日)

3室 宮廷の美術

都の生活にあこがれる兄、吉見二郎と武芸一途の弟、男衾三郎という関東武士の兄弟の生き様を描きます。武芸を怠った二郎は山賊に襲われ死んでしまい、その娘・慈悲は三郎のもとで用人のように扱われます。「武士とは何か」を問いかけるような内容です。

ところで、この写真に見覚えはないでしょうか? 歴史の教科書の「鎌倉時代の武士の生活」などの説明で頻繁に取り上げられる場面です。教科書で見たあの場面をぜひともお見逃しなく。(土屋貴裕)



◎男衾三郎絵巻
鎌倉時代・13世紀

馬上から弓で的を射る流鏑馬(やぶさめ)の光景。教科書などでおなじみの場面です

本館

獅子たちの華やかな競演

重文 獅子螺鈿鞍

6月20日(火)～9月24日(日)

12室 漆工



◎獅子螺鈿鞍
平安～鎌倉時代・12～13世紀
嘉納治五郎氏寄贈
獅子たちはいずれも、勇壮というよりはかわいらしい感じですよ

螺鈿という、貝殻の内側を平らに加工し、文様の形に切り抜いて貼り付ける装飾技法によって、様々なポーズの獅子を表しています。その周りには金粉をふんだんに蒔き付けており、黄金色の中に螺鈿の獅子がきらきらと輝いています。このような金蒔絵と螺鈿の組み合わせは、金色と貝の白色がおりなすコントラストが鮮やかで、華美が競われた平安後期から鎌倉時代にかけて、大いにもてはやされました。ここでは貝の表面に線刻で、獅子の毛並みやそれぞれに個性的な表情を描いています。(竹内奈美子)

本館

非常に珍しい形にご注目

重文 刀 粟田口国吉(号 鳴狐)

7月17日(月・祝)

13室 刀剣

由来は明らかではありませんが古くから「鳴狐」の号がある刀剣で、山形藩の秋元家に伝来しました。平造の短刀に反りをつけて大きくした形で、鎌倉時代の刀剣としては大変珍しく、公家や僧侶などが護身用として用いていたという「打刀」の作例と推定されています。作者の国吉は京都の粟田口派の名工で、この刀は直線的な刃文を焼いて一見シンプルですが、地鉄の模様も緻密です。

京都の鍛冶に共通した洗練された作風がうかがえます。(酒井元樹)



◎刀 粟田口国吉(号 鳴狐)

鎌倉時代・13世紀
渡邊誠一郎氏寄贈
類例の少ない形は謎を残しますが、地鉄や刃文の美しさは秀逸です

本館

さまざまな芸能、さまざまな面の造形

特集「日本の仮面」 舞楽面・行道面

8月27日(日)

14室



◎舞楽面 毘沙門八仙
平安時代・長久3年(1042)
奈良・手向山八幡宮蔵
への字に結んだように見える口、実はくちばしです

東大寺の鎮守・手向山八幡宮、尾張国の一宮・真清田神社、愛知・熱田神宮、和歌山・丹生都比売神社(高野山天野社)に伝来した平安から鎌倉時代の舞楽面・行道面をご覧ください。舞楽面は中国や朝鮮半島から伝わった音楽、舞をもとに、平安時代に日本独自の形にまとめられた舞楽で使われています。人物の個性を誇張した表情や、目や顎、鼻が動くように工夫した独特の形は必見です。
行道面は菩薩や護法神を表し、仏教の儀式などで使われました。これをつけてお堂の周りを行列する仏教の儀式の様子を想像しながらお楽しみください。(川岸瀬里)



東洋館

加賀百万石に伝わる
名コレクション

「加賀藩前田家伝来
名物裂」

7月2日(日)

5室 中国の染織

加賀百万石と称された大名、前田家に伝わった名物裂は、3代前田利常(1594~1658)が寛永14年(1637)、長崎に家臣の矢野所左衛門らを遣り、船載された染織を万金を投じて購入したものと伝えられています。江戸時代の茶人が羨望したのである、由来の深い古渡りの金欄や緞子、間道などが含まれる素晴らしいコレクションです。

吉祥文様である松竹梅を松毬、笹、梅花で表したこの織物は「笹蔓緞子」という名称で茶人に愛好されました。(小山弓弦葉)



前黄地花唐草文様緞子 笹蔓緞子 (部分)
前田家伝来 中国 明時代・15~16世紀
経糸(たていと)に濃い緑色、緯糸(よこいと)に橙色を用いて織り出した文様からは、愛らしさが伝わります

東洋館

タイの仏像、
その表情に魅せられる

宝冠如来頭部

通年

12室 東南アジアの金銅像



宝冠如来頭部
タイ
アユタヤ時代・16~17世紀
三木榮氏寄贈
美しいほほえみと宝冠の精細な装飾にご注目ください

うねりの強い目と口角をあげたほほえみが美しい仏の頭部。宝冠が幅広く装飾を凝らすのはカンボジアやタイなど東南アジアで好まれましたが、とりわけ出来栄がよく、精緻な表現である点が見どころです。

タイらしさは、体の表現にもみられたはずなので、現在は頭しか残らないのが残念。独特な装束やしなやかな体つきなど、タイの仏像の魅力については、門外不出の美しい全身像が勢ぞろいする、「タイ」展(↓2ページ)の会場でもぜひご覧ください。(西木政統)

東洋館

これぞ書のお手本

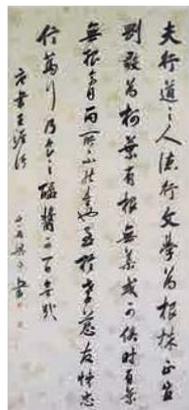
「帖学派の書
—法帖の味わい—」

6月27日(火)~8月20日(日)

8室 中国の書跡

法帖は書の名品を木や石に刻して拓本にとり装丁したものです。王羲之・王献之の書に重きが置かれた『淳化閣帖』(992)が宋時代に刊行されて以来、法帖は書を学ぶ上で最も基本的なお手本でした。清時代になると金石学の影響を受けて、乾隆・嘉慶期(1736~1820)の頃から、石碑や青銅器など金石拓本の書を学ぶ碑学が主流となっていくますが、金石とともに法帖も学ぶ、碑帖兼習の者も少なからずいました。

劉墉、梁同書、王文治といった帖学派の大家や、碑帖兼習の代表格である何紹基らの書から、清時代に受け継がれた帖学の変遷を窺えます。(六人部克典)



行書唐書王涯語軸
梁同書筆 中国
清時代・18~19世紀 青山杉雨氏寄贈
董其昌らを範とした、颯爽とした字姿が煌びやかな彩箋に光ります

東洋館

繊細かつ色鮮やかな影絵人形

「インドネシアのワヤン」

6月27日(火)~9月3日(日)

13室 アジアの民族文化



ワヤン・クリガレン
インドネシア、中部ジャワ
20世紀後半
田枝蒙氏寄贈
ガレンは、様々な立場の人に寄り添う心を持つ道化として描かれます

インドネシアの伝統的な影絵芝居ワヤン・クリでは、マハーバーラタやラーマヤナなどの古代インドの叙事詩から題材をとった演目が上演されます。今年、マハーバーラタの主要キャラクターとともに、平成27年度に寄贈されたプノカワン(道化)を展示します。ワヤンに登場する神様は、決して完璧ではなく、時には失敗もするので、そんな時、三枚目のはずの彼らが神様を助けたりすることもあります。ストーリーに奥行きを与える道化たちにも注目してください。(白井克也)

Pick up!



◎**埴輪 盛装女子**
古墳時代・6世紀
群馬県伊勢崎市
豊城町横塚出土
古墳時代の高貴な女性
の装いを、いまに
伝えてくれる名品です
(部分)

平成館考古展示室の入口にてお客様をお迎えしてきた「埴輪 挂甲の武人」(↓13ページ)に替わり、新たに展示することになったのが「埴輪 盛装女子」です。

この女性は、女子埴輪としては珍しく、全身を表現しています。波模様の上着を着て、縦縞模様の「裳」と呼ばれるスカートをはいています。結った鬘は堅櫛で留め、額には鉢巻きを締め、両耳には耳環と玉、首や手首には玉を付けています。華やかに着飾り、葬送など特別な儀式に参加している様子だと考えられます。(河野正訓)

平成館

考古展示室入口で
お待ちしております!

重文 埴輪 盛装女子

7月4日(火)〜通年

考古展示室

法隆寺宝物館

飛鳥〜奈良時代の染織とは?

「さまざまなる

染織の技法」

7月11日(火)〜8月6日(日)

第6室



淡茶地白虎文描繪綾
天蓋垂飾
飛鳥時代・7世紀
大駆ける流麗な白虎の
姿に古代へのロマンが
掻き立てられます

法隆寺献納宝物に伝わる染織品のうち、錦や綾といった織りの技法で文様を表した作品のほか、縷縷や摺絵といったように、二次的な染色技法で文様を表した作品を展示します。なかでも注目ののが写真の作品。天蓋とよばれる傘の周囲に下げられていた飾りの一つです。この作品が凄いののは、飛鳥時代の白虎の絵が残されているところ。唐の影響を受けたキトラ古墳や高松塚古墳の壁画よりも様式的には古く、百済の影響が認められます。絹に鉱物顔料で描かれた本格的な絵画としては我が国最古の作品である可能性が考えられます。(三田寛之)

黒田記念館

外光派に学んだ
明るい色彩に注目

大磯

7月4日(火)〜8月6日(日)

黒田記念室



おおいそ 大磯
黒田清輝筆 明治30年(1897)
明治時代も、湘南のビーチで日光浴!

湘南の大磯といえば水着にビーチ、夏の行楽地というイメージがありますが、じつは明治時代からすでに海水浴場として知られていました。加えて大磯は政財界要人の別荘地でもあり、黒田清輝も親戚の榊山伯爵家をたよって、しばしば同地に立ち寄り、その風光を描いた小品をいくつか残しています。本作品もそのひとつで、夏の陽射しが照りつける中、浜辺に寝そべって日光浴をする人たちが、フランスの外光派に学んだ黒田ならではの明るい色彩で描き出されています。(東京文化財研究所・塩谷純)

1000年後の未来に バトンタッチ!



紙の種類、重さ、製造者ごとに分けて箱に収納し、使用されるその時を待っています

保存と修理情報 41

修理材料の整備 —和紙について

文化財修理に欠かせない材料に和紙があります。例えば掛軸や屏風などの裏打ちや補修に使用します。和紙は丈夫なイメージがありますが、滲ぎたては繊維の結合が不安定なため、安定するまで整った環境で最低でも数年ほど保存しています。従って、将来必要となる紙を継続的に購入・ストックしていくこととなります。そのことが文化財のみならず和紙の製造者の技術保存と継承にも繋がります。和紙は世界中で行われている修理でも用いられ、今やグローバルな素材となっております。(下田純平)

7月 展示案内

- 1-1: 日本美術のあけぼの一縄文・弥生・古墳
- 1-2: 仏教の興隆—飛鳥・奈良
- 2: 国宝室
- 3-1: 仏教の美術—平安～室町
- 3-2: 宮廷の美術—平安～室町
- 3-3: 禅と水墨画—鎌倉～室町
- 4: 茶の美術
- 5-6: 武士の装い—平安～江戸
- 7: 屏風と襖絵—安土桃山・江戸
- 8-1: 暮らしの調度—安土桃山・江戸
- 8-2: 書画の展開—安土桃山・江戸
- 9: 能と歌舞伎
- 10: 浮世絵と衣装—江戸
- 11: 彫刻
- 12: 漆工
- 13-1: 金工
- 13-2: 刀剣
- 13-3: 陶磁
- 14: 特集
- 15: 歴史の記録
- 16: アイヌと琉球
- (17: 保存と修理)
- 18: 近代の美術



3-2
-7/9日 (部分)
つなえまき
◎**網絵巻** 室町時代・16世紀
平安時代の武将・渡辺綱の鬼退治を描きます



7/11日(火)-8/20日 (部分)
◎**男表三郎絵巻** 鎌倉時代・13世紀
→P7



(部分)

3-3
-7/9日
◎**太公望・文王図**
伝狩野元信筆
室町時代・16世紀
旧大仙院方丈障壁画
広々とした空間に軍師・太公望と文王の出会いが表現されています



(部分)

7/11日(火)-8/20日
◎**大燈国師上堂語**
一休宗純筆
室町時代・15世紀
中島洋一氏寄贈
一休が自在に筆をふるった大徳寺の開山宗峰妙超の言葉

7
-7/2日 ◎**風雷神図屏風**
尾形光琳筆 江戸時代・18世紀 →P3



7/4日(火)-8/6日
◎**鶉飼図屏風**
狩野探幽筆 江戸時代・17世紀
東京・大倉古館蔵
夏の長良川で繰り広げられる光と闇の一大イベントの様子を探幽が活写します
(部分)



8-1
-7/30日
◎**網干鷲繪漆櫃**
江戸時代・17世紀



◎**瑠璃地染付蓮園水指**
伊万里
江戸時代・17世紀
瀟洒な趣が何とも心憎い、初期伊万里の代表作です



8-2
-6/25日 (部分)
◎**日本書紀注釈**
後陽成天皇筆
安土桃山時代・17世紀
太田松子氏寄贈



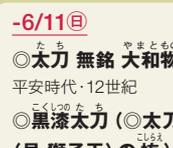
6/27日(火)-8/6日
◎**兎道朝暉図**
木米筆 江戸時代・文政7年(1824)
画家・陶工である木米による、京都・宇治を異国風に描いた名所絵



4
-6/11日
◎**伽藍石香合**
伊賀 江戸時代・17世紀



6/13日(火)-9/18日(祝)
◎**青磁琮形花入**
中国・南宋官窯 尾張徳川家伝来
南宋時代・12~13世紀
広田松繁氏寄贈
古い玉器に倣った形。厚く掛けられた釉と全面に走る貫入が印象的です



5-6
-6/11日
◎**太刀 無銘 大和物 (号 獅子王)**
平安時代・12世紀
◎**黒漆太刀 (号 太刀 無銘 大和物 (号 獅子王) の拵)**
鎌倉時代・13~14世紀
6/6日(火)-8/27日
◎**紅糸威二枚胴具足**
江戸時代・17世紀
サザエの形の兜がとても印象的です



本館 2F: 1~10



-7/17日(月)・祝
◎**埴輪 猿**

伝茨城県行方市沖洲
大日塚古墳出土
古墳時代・6世紀



7/19日(水)-12/25日

◎**埴輪 盛装の男子**

群馬県太田市
四ツ塚古墳出土
古墳時代・6世紀

儀式に参加するために盛装した、貴人の姿を忠実に表現した優品です
(部分)



-8/20日
◎**如来立像**

飛鳥時代・7世紀

7/11日(火)-8/20日

◎**賢愚経 (大聖武)**

伝聖武天皇筆
奈良時代・8世紀
聖武天皇筆と伝えられた風格のある書



(部分)

-6/4日

◎**法華経巻第一 (浅草寺経)**

平安時代・11世紀
東京・浅草寺蔵



(部分)

6/6日(火)-7/2日

◎**充内供奉治部省牒 (円珍関係文書の内)**

平安時代・嘉祥3年(850)
天台宗寺門派の開祖円珍を天皇に近侍する職に任命した文書



(部分)

7/4日(火)-7/30日

◎**華嚴宗祖師絵伝 元曉絵 巻中**

鎌倉時代・13世紀
京都・高山寺蔵
新羅の高僧の物語。この場面は離宮から經典を取り寄せるところ



(部分)

-7/9日

◎**願文**

世尊寺定成筆 鎌倉時代・弘安7年(1284)
流麗な世尊寺定成書の書の下には人物や樹木が施されています



7/11日(火)-8/20日

◎**慈恵大師坐像**

蓮妙作
鎌倉時代・弘安9年(1286)
滋賀・金剛輪寺蔵
観音の化身といわれた傑僧の肖像で気迫がみなぎります

6月 本館展

13-3

-6/11◎
いろゑ かちょうもんおふかばち
◎**色絵花鳥文大深鉢**
伊万里(柿右衛門様式)
江戸時代・17世紀



6/13火-**9/3**日◎
そめつけりゅうとうもんまげりゅう
◎**染付龍涛文提重**
青木木米作 江戸時代・19世紀
笠置運氏寄贈
中国・明時代の青花磁器に倣って作られた重厚な一作です



10
衣装

6/13火-**8/6**日◎
かたばらくろあさじひわれ
◎**帷子 黒麻地水割**
ちりしももよう
紅葉文字模様
江戸時代・18世紀
暑い時期だからこそ、涼を誘う「氷」の模様



-6/11日◎
こぞでちやりんずししきこうさくふういもよう
◎**小袖 茶繪子地四季耕作風景模様**
江戸時代・19世紀

14

-8/27日◎
ぶかくめん りょうおう
◎**舞楽面 陵王**
和歌山・丹生都比売神社伝来
鎌倉時代・13~14世紀 水野忠弘氏寄贈
頭上には龍を載せ、目や顎が動く面。法要で行く舞楽で使われました



◎**舞楽面 崑崙八仙**
平安時代・長久3年(1042)
奈良・手向山八幡宮蔵 →P7



本館 1F: 11~16, 18

11

-7/23日◎
ふびんぼまつきぞうぞう
◎**普賢菩薩騎象像**
平安時代・12世紀
東京・大倉集古館蔵
平安貴族の美意識が集められた非常に優美な彫刻です。衣の繊細な截金文様にも要注目



7/25火-**10/22**日◎
でんげんたのよとりもどぎぞう
◎**伝 源 頼朝坐像**
鎌倉時代・13~14世紀
武士の肖像彫刻の代表的な作例。本当に源頼朝かどうかは検討の余地があります



15

-6/11日◎
はやなわかけようひながた
◎**早縄掛椽雛形**
江戸時代・19世紀

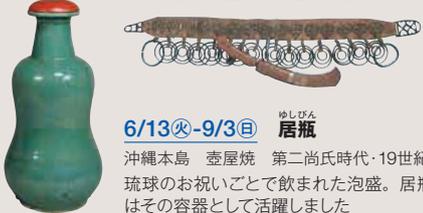


6/13火-**8/6**日◎
さんごんちゅうへんないずぶ
◎**スリナム産昆虫変態図譜**
(フランス語版) A.M.S.メーリアン著
シーボルト寄贈 1726年
オランダ人女性による超高精細昆虫図譜。虫好きの方は必見



16

-6/11日◎
ふしやよう おび
◎**巫者用の帯**
樺太アイヌ 19世紀
農商務省北海道事業管理局寄贈



6/13火-**9/3**日◎
ゆしびん
◎**居瓶**
沖縄本島 壺屋焼 第二尚氏時代・19世紀
琉球のお祝いごとで飲まれた泡盛。居瓶はその容器として活躍しました

12

-6/18日◎
ほつせやままさえすりほこ
◎**初瀬山時絵硯箱**
室町~安土桃山時代・16世紀
山風と花の名所「初瀬山」を詠んだ和歌を暗示しています



6/20火-**9/24**日◎
ししらでんくら
◎**獅子螺鈿鞍**
平安~鎌倉時代・12~13世紀
嘉納治五郎氏寄贈 →P7



9

6/13火-**8/6**日◎
ちゅうげんこんじ(ぼたんからくさむしとりもよう)
◎**長絹 紺地牡丹唐草蝶鳥模様**
江戸時代・18世紀
舶来の珍しい織物でつくられています



-6/11日◎
ぶかくしやうぞく
◎**舞楽装束 貴徳(栞福)**
江戸時代・19世紀



18

-7/9日◎
おうみはつげい
◎**近江八景**
今村紫紅筆
大正元年(1912)
晴々とした琵琶湖畔と、残雪の比良山の光景



7/11火-**10/1**日◎
れいこびりあ
◎**麗子微笑**
岸田劉生筆
大正10年(1921)
誰もが知っている肖像画。一度目にしたら忘れられません



13-1

-6/11日◎
こんどうけまん
◎**金銅華鬘**
鎌倉時代・13世紀
奈良国立博物館蔵



6/13火-**9/18**月・日◎
ごこしよ
◎**五鈷杵**
鎌倉時代・13世紀
密教の修法(すほう)に用いられる法具。仏の智慧が強固なことを象徴します



-7/17月・日◎
ししらでんくら
◎**刀 粟田口国吉(号 鳴狐)**
鎌倉時代・13世紀 渡邊誠一郎氏寄贈 →P7



7/19火-**10/15**日◎
たち さんしやう みかつむねちか
◎**太刀 銘 三条(名物 三日月宗近)**
平安時代・10~12世紀 渡邊誠一郎氏寄贈
刃文の一部が三日月状にみえることからこの名があります



10
浮世絵

-6/11日◎
あきつぼ
◎**東扇・初代中村仲蔵**
勝川春章筆
江戸時代・18世紀

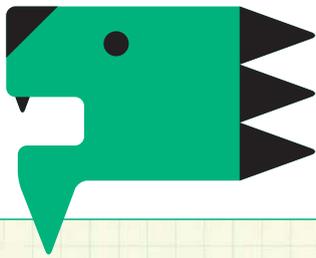


6/13火-**7/9**日◎
たなばた たんざく か ひしん
◎**七夕の短冊を書く美人**
鈴木春信筆 江戸時代・18世紀
七夕飾りを背景にして、短冊に願いを書く娘を円窓の中に描いた作品



7/11火-**8/6**日◎
かぶさずひやうぶ
◎**歌舞伎図屏風(右隻)**
菱川師宣筆 江戸時代・17世紀
元禄歌舞伎の華やかな舞台の様子が描かれています(部分)





みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

教育普及事業

PART
1

知る楽しみ、学ぶ喜び

講演会・ギャラリートーク・ガイダンス

講演会

月例講演会「西アジアの発掘現場から—考古学が語る聖書の世界」

日時：6月10日(土) 13:30~15:00

講師：小野塚拓造(東洋室研究員)

ユダヤ教やキリスト教を生み出した古代イスラエルの歴史と文化。その実像に考古学から迫ります。発掘現場の様子や、最新の調査成果もご紹介します。

月例講演会「古墳時代の石製宝器と儀器」

*関連展示：本誌6ページ

日時：7月29日(土) 13:30~15:00

講師：河野正訓(考古室研究員)

4~5世紀の古墳に副葬された、石製の宝器や儀器の魅力について、奈良県東大寺山古墳と東京都野毛大塚古墳出土品を中心にお話します。

*会場は平成館大講堂、定員380名、聴講無料(ただし、当日の入館料が必要)

*開場は開始の30分前(予定)



祝! 国宝 & 重要文化財

ギャラリートーク

四十八体仏入門

日時：6月16日(金) 18:30~19:00 東洋館ミュージアムシアター

講師：丸山士郎(特別展室長)

法隆寺に伝来した四十八体仏と呼ばれる金銅仏の歴史についてお話します。

尾形光琳琳「風神雷神図屏風」

*関連展示：本誌3ページ

日時：6月20日(火) 14:00~14:30 本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

講師：金井裕子(絵画・彫刻室主任研究員)

俵屋宗達に憧れた尾形光琳は、宗達同様「風神雷神図屏風」を描きますが、両者はよく似ているようで実は様々な違いが...! 細部をじっくり見ていきましょう。

インドネシアのワヤン

*関連展示：本誌8ページ

日時：6月27日(火) 14:00~14:30 東洋館13室

講師：白井克也(考古室長)

影絵人形ワヤン・クリで登場する、道化のキャラクターについて紹介します。

古墳時代の女子埴輪

*関連展示：本誌9ページ

日時：7月11日(火) 14:00~14:30 平成館考古展示室

講師：河野正訓(考古室研究員)

古墳に立てられた女子埴輪のしぐさ、服装、装飾品から、古墳時代における女性の役割を探ります。

狩野探幽の「鶴飼図」

日時：7月14日(金) 18:30~19:00 本館7室

講師：遠藤楽子(国際交流室主任研究員)

重要文化財「鶴飼図屏風」(東京・大倉集古館蔵)と、狩野探幽の絵画についてお話しします。

古代東地中海のガラス器

日時：7月21日(金) 18:30~19:00 東洋館ミュージアムシアター

講師：小野塚拓造(東洋室研究員)

青銅器時代からローマ時代にかけて生産された華奢なガラス器に注目。その美しさに制作技法から迫ります。

東京藝術大大学院インターンによるギャラリートーク

「紅型ができるまで」

6月7日(水)・14日(水)・21日(水)、7月1日(土)、

9月10日(日)・17日(日)・24日(日)、

10月3日(火)・10日(火)・17日(火)

各回15:30~15:50 本館19室

解説：山田麻緒、大小田万侑子、月村紀乃

紅型の工程見本を制作するにあたり、調査や復元を通してわかった技法や表現について、制作を担当した藝大生がお話しします。

紅型は沖縄の染織のひとつよ



PART
2

あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

アートスタジオ 「根付作り」

本館10室と高円宮コレクションの根付を見学した後に、焼くと固まる樹脂でできた粘土で根付を制作します。完成品はお持ち帰りいただけます。

日時：①8月6日(日) ②9月3日(日) いずれも13:30~15:30

会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

対象：①小学校3年生~中学生(保護者の見学可) ②高校生以上

定員：各回20名程度(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

申込方法：当館ウェブサイトのフォームか往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合は、「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな、①の場合は学年、(2)参加者の郵便番号・住所(2名の場合は、それぞれの住所)、(3)代表者の電話番号、(4)保護者が一緒の場合はその人数を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

申込締切：①7月10日(月) 必着 ②8月7日(月) 必着

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室

①「8月6日根付作り」、または

②「9月3日根付作り」係

お問合せ：TEL 03-3822-1111(代)

ボランティア室



*事前申込プログラムにお申し込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、

通信トラブルの可能性もありますので、各申込先に電話でお問合せください。TEL:03-3822-1111(代)

*各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

*インターネットからのお申込みができない方は、お電話でお問合せください。

* ◆は「ヒアリンググループ」(→14ページ)対応のイベントです。

五感を使った美術体験

ワークショップ・ツアー

ワークショップ

日本文化との出会い「書体験」

日本文化を代表する書に親しむ第一歩。トーハク所蔵の国宝「賢愚経(大聖武)」をお手本に、うちわに筆ペンで一文字、書いてみましょう。

日時：6月9日(金)～7月2日(日)

火・水・木・日曜日 11:00～16:30 金・土曜日 15:00～20:30

*当日受付。受付は会場で、終了時間の30分前まで

会場：本館2階ラウンジ

定員：毎日200名(先着順)

参加費：100円(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は別途当日の入館料が必要)

お問合せ：TEL 03-3822-1111 (代) 教育普及室

事前申込制 [ウェブサイトフォーム]

ファミリーワークショップ

「びょうぶをつくる」 *関連展示:本誌4ページ

屏風の体験型展示を見て、自分だけの屏風を作ります。屏風の構造や、昔の人がどうやって屏風を使っていたのかがわかると、見る楽しさもぐっと広がります。

日時：①8月13日(日) ②8月20日(日) 各日10:00～12:30

会場：本館地下 みどりのライオン (教育普及スペース)

対象：小学生とその保護者

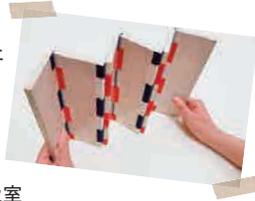
定員：10組(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

申込方法：当館ウェブサイトのフォームでお申込ください

申込締切：①②ともに7月20日(木) 必着

お問合せ：TEL 03-3822-1111(代) 教育普及室



ファミリーツアー

「トーハク劇場へようこそ！」

考古学をテーマにした演劇形式のツアーです。

日時：7月29日(土) ①10:00～11:00 ②13:30～14:30

7月30日(日) ③10:00～11:00 ④13:30～14:30

*7月30日(日)の回はトーハクキッズデー(→4ページ) 関連イベントです

集合場所：平成館 考古展示室前(事前申込不要)

対象：小学生とその保護者

参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

お問合せ：TEL 03-3822-1111(代)

教育普及室



事前申込制 [ウェブサイトフォーム]

東京藝術大大学院インターンによるワークショップ

「古典紅型のトートバッグを作ろう」

「紅型衣装 白木綿地牡丹模様」(7月25日(火)～9月3日(日)、本館16室にて展示)と同じ模様を、ミニトートバッグに染めてみましょう。できあがった作品は、後日郵送します。

日時：8月10日(木) 13:00～15:30

会場：本館地下 みどりのライオン (教育普及スペース)

対象：小学校4年生～中学生(保護者の見学も可)

定員：10名(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

申込方法：当館ウェブサイトのフォームでお申込ください

申込締切：7月10日(月) 必着

お問合せ：TEL 03-3822-1111 (代) ボランティア室



「彫って・染めて 古典紅型を体験しよう」

伝統的な紅型の模様から、自分の好きな模様を選んで型紙を彫り、刷毛を使って染める工程を経て、ミニトートバッグを作ります。できあがった作品は、後日郵送します。

日時：8月22日(火) 13:00～15:30

会場：本館地下 みどりのライオン (教育普及スペース)

対象：高校生以上

定員：10名(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

申込方法：当館ウェブサイトのフォームでお申込ください

申込締切：7月18日(火) 必着

お問合せ：TEL 03-3822-1111 (代) ボランティア室



トーハクのプリンス「埴輪 挂甲の武人」が大修理だほ!

2015年10月のリニューアル以来、平成館考古展示室の顔として展示されていた国宝「埴輪 挂甲の武人」が大修理に入ります。この修理について、トーハクくんとユリノキちゃんが迫ります!

●埴輪 挂甲の武人

群馬県太田市飯塚町出土 古墳時代・6世紀



埴輪で唯一国宝に指定されている、「埴輪 挂甲の武人」が7月2日(日)で考古展示室を去り、本格解体修理に入るのよ。

ということはしばらく会えないだほ…。

文化財の宿命で、どうしても経年による劣化は避けられないの。



もともと下半身が大きく欠けていたのを、前回の修理(※1)の際に、石膏で復元されましたが、経年により劣化が進んでいます(黄色が復元箇所)



前回の修理で接合した箇所は、長年の加重により緩んできています

今回の修理の方法：修理前調査 → 解体 → クリーニング → 組立

今回の修理は、2年以上もかけて行う大がかりなものよ。まず修理の前の調査に6ヵ月かかるの。

何をそんなに調査するんだほ?壊れているところを直せばいいんだほ。

ただ直すことだけ考えるのではなく、この次の修理も見据えて、オリジナルの部分に負担にならない方法で行うことも重要なの。だから、挂甲の武人さんが今どんな状態にあるのか、詳しく調べないと!

次の修理まで考えているなんてすごいほー。

当然お金もたくさん必要になるんだけど、なんとご寄付(※2)をいただけたの!

ほー!?それはとってもありがたいほー。

修理完了は2019年6月末の予定よ。埴輪担当の研究員は修理が完了したらできるだけ早く展示するって言っていたわ。

挂甲の武人さん、しばらく会えないのはさみしいけど、元気になって戻ってくるのを待っているほ!

※1 当館の収蔵品になった昭和27年(1952)以降修理の記録はないため、それ以前に行われたと考えられます

※2 ハンクオアメリカ・メリルリンチ文化財保護プロジェクトからの助成(トーハクでは、「国宝 繪図屏風 狩野永徳筆」「国宝 鷹見泉石像 渡辺華山筆」に続く3件目)



2015年10月の考古展示室リニューアル時のポスター。プリンスの復帰を待っています!

東京国立博物館 ファミリーコンサート

クラリネットのみのユニークな編成でお届けする、東京クラリネット・クワイアーのファミリーコンサートも今年で15回目になりました。親しみやすい楽曲を中心に演奏しますので、お気軽にお立ち寄りください。

日時：7月9日(日)

①開演13:00(開場12:30) ②開演15:00(開場14:30)

会場：平成館大講堂 定員：350名(先着順)

出演：東京クラリネット・クワイアー(演奏) 稲垣征夫(指揮)

曲目：J.シュトラウスII「クリップ・クラップ・カロップop.466」(稲垣征夫編曲)

J.シュトラウスII「爆発ポルカop.43」(稲垣征夫編曲)

J.シュトラウスII「ワルツ『レモンの花咲くところ』op.364」(稲垣征夫編曲) ほか *各回ごとに演奏曲を変更する予定です。

料金：無料(ただし当日の入館料が必要)

主催：東京国立博物館、

東京クラリネット・クワイアー

協賛：上野のれん会、

東京国立博物館ミュージアムショップ

*詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。



昨年のコンサートの様子

資料館新サービスのお知らせ

国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、インターネット上では公開されておらず、絶版などの理由で入手困難なものについて、当館資料館の専用PCで閲覧・複写ができる「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」の利用を4月3日(月)より開始しました。図書・古典籍・雑誌など約149万点の資料が対象です。詳細は当館ウェブサイトの資料館利用案内のページでご確認ください。

東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同をいただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。

◎年会費

〈団体〉プレミアム会員 1,000万円以上

特別会員 100万円(1口)

維持会員 20万円

〈個人〉プレミアム会員 100万円以上

特別会員 20万円/維持会員 5万円

◎主な特典

- 特別展の内覧会にご招待
- 東京国立博物館ニュースの送付

◎申込方法

当館窓口のほか、当館ウェブサイト(クレジットカード決済)、銀行振込で随時受け付けています。

◎お問合せ

東京国立博物館総務部 賛助会担当
電話 03-3822-1111(代)

東京国立博物館賛助会員 2017年5月17日現在

特別会員

| | |
|------------------------|------------------------|
| 日本電設工業株式会社 様 | 公益財団法人 東芝国際交流財団 様 |
| 株式会社 コア 様 | 日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社 様 |
| 大日本印刷株式会社 様 | 日本ロレックス株式会社 様 |
| 毎日新聞社 様 | サロン・ド・ソネット 様 |
| 株式会社 大林組 様 | TABIZURU FOUNDATION 様 |
| 朝日新聞社 様 | 株式会社 みずほ銀行 様 |
| 株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様 | 一般財団法人 東京国立博物館協力会 様 |
| 株式会社 ミロク情報サービス 様 | |
| 読売新聞社 様 | |
| 三菱商事株式会社 様 | |
| 凸版印刷株式会社 様 | |

個人

| | | | |
|----------------|----------|----------|-----------|
| プレミアム会員 | 小澤 桂一 様 | 津久井 秀郎 様 | 高見 康雄 様 |
| 岩間 良孝 様 | 上久保のり子 様 | 川澄 祐勝 様 | 田中 望 様 |
| | 柳田 良豊 様 | 神通 豊 様 | 三井 達雄 様 |
| 特別会員 | 長谷川 英樹 様 | 神通 豊一 様 | 坂詰 昌司 様 |
| 辻 泰二 様 | 池田 孝一 様 | 永久 幸範 様 | 吉田 靖 様 |
| 谷川 紀彦 様 | 木村 剛 様 | 石川 公子 様 | 松本 雅彦 様 |
| 佐久間 基晴 様 | 観世 あすか 様 | 永田 実香 様 | 片山 正紀 様 |
| 田中 将介 様 | 星望 由尚 様 | 西岡 康宏 様 | 伊藤 喜雄 様 |
| 井田 悦郎 様 | 渡辺 章 様 | 友景 紀子 様 | 細川 要子 様 |
| 大山 孝良 様 | 稲垣 哲行 様 | 東野 治之 様 | 錦織 伸一 様 |
| | 飯岡 雄一 様 | 竹下 佳宏 様 | 鈴木 幸一 様 |
| | 高瀬 正樹 様 | 松原 聡 様 | 秋元 文子 様 |
| | 伊藤 信彦 様 | 寺浦 信之 様 | 野澤 智子 様 |
| | 数内 匡人 様 | 高木 美華子 様 | 坂田 浩一 様 |
| | 服部 悦子 様 | 古屋 光夫 様 | 池谷 正夫 様 |
| | 岩沢 重美 様 | 根田 穂美子 様 | 秦 芳彦 様 |
| | 高田 朝子 様 | 松本 澄子 様 | 木谷 勝郎 様 |
| | 齋藤 京子 様 | 是常 博 様 | 渡久地 ツル子 様 |
| | 齋藤 邦裕 様 | 上野 孝一 様 | 汐崎 浩正 様 |
| | 和田 喜美子 様 | 北山 喜立 様 | 平井 千恵子 様 |
| | 藤原 紀男 様 | 山田 泰子 様 | 青山 道夫 様 |
| | 中川 俊光 様 | 柴田 隆子 様 | 高橋 静雄 様 |
| | 関谷 徳衛 様 | 網村 安代 様 | 田中 千秋 様 |
| | 高橋 守 様 | 臼井 生三 様 | 小西 暁也 様 |

維持会員 団体

| | |
|-------------------|--------------------|
| 株式会社 三冷社 様 | インフォコム株式会社 様 |
| 株式会社 東京美術 様 | 学校法人 大勝院学園 様 |
| 日本通運株式会社 美術品事業部 様 | 株式会社 システム設計 様 |
| 株式会社 安井建築設計事務所 様 | 株式会社 インターネットメディア 様 |
| 株式会社 ナガホリ 様 | 株式会社 ユニバーサル 様 |
| 松本建設株式会社 様 | 株式会社 ギャラリー・竹柳堂 様 |
| 株式会社 古美術数本 様 | 株式会社 育伸社 様 |
| 謙慎書道会 様 | 株式会社 モリサワ 様 |
| 近代書道研究所 様 | アミ開発株式会社 名古屋支店 様 |
| 日本畜産興業株式会社 様 | 光村図書出版株式会社 様 |
| 株式会社 東京書芸館 様 | 株式会社 資生堂 様 |

| | |
|---------------------|-------------------------|
| 株式会社 グラスパウハー・ジャパン 様 | 公益財団法人 書道芸術院 様 |
| 株式会社 デュナミス 様 | アズビル株式会社 様 |
| キョーマン株式会社 様 | セコム株式会社 様 |
| 公益社団法人 創玄書道会 様 | 株式会社 ニッセイコム 様 |
| 朝陽書道会 様 | 金剛株式会社 様 |
| 一般社団法人 書芸文化院 様 | 株式会社 鶴屋吉信 様 |
| 株式会社 精養軒 様 | 株式会社 ロイスダール 様 |
| 株式会社 都市環境企画 様 | 株式会社 岡村製作所 様 |
| 全日本空輸株式会社 様 | 株式会社 GIC ジャパン 様 |
| 株式会社 清光社 様 | 公益財団法人 アダチ伝統木版画技術保存財団 様 |
| 一般社団法人 学士会 様 | |

| | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|------------|
| 井出 宗則 様 | 加藤 正叙 様 | 前田 寿子 様 | 向山 裕子 様 | 大貫 健司 様 | 士志田 嘉 様 |
| 土屋 和彦 様 | 蔵口 真理 様 | 笠原 勉 様 | 上島 啓祿 様 | 中井 健二 様 | 本保 順子 様 |
| 碓田 榮一 様 | 宮下 雅博 様 | 小川 恭子 様 | 田中 真知子 様 | 萩原 美恵子 様 | 佐藤 はるみ 様 |
| 加納 人様 | 田代 雅彦 様 | 田中 三伊 様 | 高田 明典 様 | 石井 延隆 様 | 面田 大介 様 |
| 林 和人 様 | 昆 政彦 様 | 黒野 英俊 様 | 根岸 順 様 | 佐々木 裕明 様 | 佐藤 義昭 様 |
| 清水 透石 様 | 高橋 薫 様 | 廣瀬 敏章 様 | 小野 透 様 | 三浦 邦夫 様 | 近藤 雅美 様 |
| 野本 陽代 様 | 清田 志郎 様 | 北田 俊也 様 | 竹中 洋介 様 | 原田 清朗 様 | 伊藤 隆 様 |
| 佐藤 芙蓉 様 | 佐野 淑子 様 | 岩本 みち子 様 | 脇 素一郎 様 | 横田 恭三 様 | 桑田 啓一 様 |
| 青山 慶示 様 | 中村 光宏 様 | 堀川 佳津美 様 | 本條 陽子 様 | 和田 文彦 様 | 吉原 知良 様 |
| 谷内 英一 様 | 中島 米治郎 様 | 瀧本 篤 様 | 福井 一夫 様 | 加田 知佳乃 様 | 竹原 鈴子 様 |
| 樋口 順一 様 | 田中 久丸 様 | 秋元 幸雄 様 | 山神 英司 様 | 北山 卓 様 | 福田 倫子 様 |
| 吉永 喜代子 様 | 神田 靖男 様 | 中山 安弘 様 | 長井 真理 様 | 眞鍋 敏子 様 | ほかに122名2社、 |
| 長嶋 益子 様 | 森本 晃生 様 | 鈴木 健之 様 | 島谷 桂子 様 | 荒井 淳子 様 | 順不同 |
| 富山 仁美 様 | 石飛 博光 様 | 野田 和佳子 様 | 森本 文子 様 | 伊藤 達次郎 様 | |
| 高山 真行 様 | 清原 真里 様 | 木村 則子 様 | 木田 敦子 様 | 宮森 孝子 様 | |
| 渡辺 靖美 様 | 角田 保行 様 | 水田 涉子 様 | 牧 裕子 様 | 金光 秀行 様 | |
| 鈴木 深泉 様 | 三浦 基広 様 | 吉原 剛一 様 | 南 佳菜子 様 | 田原 喬子 様 | |
| 今村 正 様 | 金光 真佐一 様 | 本吉 文夫 様 | 沖 斗南 様 | 大山 仁 様 | |
| 供田 扶美 様 | 田辺 修一 様 | 重田 綾子 様 | 北川 由紀夫 様 | 小田 周平 様 | |
| 福武 正廣 様 | 水野 和良 様 | 福武 正廣 様 | 竹内 明世 様 | 伊藤 隆 様 | |
| 竹内 和世 様 | 平田 泰之 様 | 伊藤 隆 様 | 山岡 寛幸 様 | 沼尻 昭 様 | |
| 岡野 一昭 様 | 武井 伸之 様 | 伊藤 隆 様 | 小森 義記 様 | 小森 義記 様 | |
| 小林 浩和 様 | 羽石 史生 様 | 伊藤 隆 様 | 庄司 浩 様 | 那須野 さや 様 | |
| | | 伊藤 隆 様 | 三宮 信秀 様 | 佐藤 直哉 様 | |





肉との遭遇

今年の2月、海外での日本古美術展調査のため、トーハクと九州国立博物館の名品を集めた「日本美術之最」展を開催中の国立故宮博物院南分院(台湾・嘉義)を訪問しました。その時南院には故宮博物院で大人気の「肉形石」が展示されていましたが、「日本美術之最」展は、2014年にこの「肉形石」を含む(展示は九博のみ)故宮博物院の名品をお借りした返礼として開催されたものです。「肉形石」の展示スペースには九州での列を思い出させるような長い列。時間がなかつたので遠くから望遠レンズでお姿を拝見し、帰りに牛肉麺をいただきました。目と舌で「肉」を楽しんだ台湾調査の旅の1コマ。(鬼頭智美)

特別展「運慶」チケットプレゼント

本誌2ページでご紹介した特別展「運慶」(9月26日(火)～11月26日(日))の無料観覧券(10組20名様)をプレゼント。締切は8月10日(木)必着。

プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、ならびにこの号で一番おもしろかった記事をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 広報室「ニュース6・7月号」プレゼント係



「MUSEUM」667号(2017年4月15日発行)の掲載論文

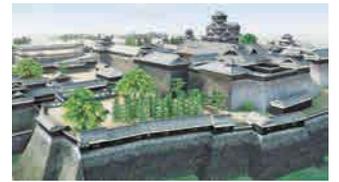
- ①「法隆寺献納宝物の広東製—その分類および絵画・彫刻等からみた文様の伝播について—」
沢田むつ代(当館客員研究員)
- ②「『資料紹介』愛知県春日井市・退休寺の久安二年銘阿弥陀如来坐像」
山本勉(清泉女子大学教授)
小野佳代(東海学園大学准教授)
お問合せ:当館ミュージアムショップまたは
中央公論事業出版(TEL:03-5244-5723)
定価:1,543円(税込)



TNM & TOPPAN ミュージアムシアター

VR作品「熊本城」～7月30日(日)

勇猛果敢な武将であり築城の名手でもあった、加藤清正。その手腕を買われて清正は、豊田秀吉や徳川家康に命じられ、いくつもの城の普請を任せられました。こうした普請経験と武将としての数々の実戦体験から多くを学んだ清正は、自身の城、熊本城に、万一の籠城にも備えた鉄壁の守りを施しました。その難攻不落の城に攻め入るつもりで、ナビゲーターと共に天守と本丸御殿へと向かいましょう。



料金:一般・大学生・高校生:500円、小学生・中学生:300円、未就学児、障がい者及び同伴者1名:無料(1作品/1回あたり)

- *総合文化展とセット購入で一般:1,000円/大学生800円
- *所要時間は約40分です。鑑賞には当日の予約が必要です。
- *演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。
- *詳細はウェブサイトをご覧ください。 URL <http://www.toppa-vr.jp/mt/>

東京国立博物館利用案内

開館時間:

- 9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)
- 土・日曜日および11月2日(木)は21:00まで
- 9月までの日曜・祝日は18:00まで
- 9月22日(金)・23日(土・祝)は22:00まで
- いずれの場合も黒田記念館は17:00まで

休館日:

- 月曜日
- (祝日・休日に当たる場合は開館、翌平日休館)
- 年末年始
- (12月26日(火)～2018年1月1日(月・祝))
- 8月14日(月)、10月10日(火)、12月25日(月)、2018年3月26日(月)は開館
- 12月12日(火)は電気設備等保守点検のため、臨時休館
- *特別展等の開催に伴い、開館時間及び休館日は変更になることがあります。

総合文化展観覧料金:

- 一般=620(520)円 大学生=410(310)円
- ()内は20名以上の団体料金
- 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料
- 敬老の日(9月18日(月・祝))は、総合文化展のみ無料

最新情報は、ウェブサイト、Facebook、Twitter、Instagram、メールマガジンで!
東京国立博物館ウェブサイト
<http://www.tnm.jp/>

東京国立博物館会員制度(2017年4月からの新制度)

東京国立博物館では、皆様のニーズに合わせて各種会員制度をご用意しております。

友の会

発行日から1年間有効
年会費 8,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を6枚配布、本誌の定期購読、ショップ、レストラン割引等様々な特典があります。

メンバーズプレミアムパス

発行日から1年間有効
年会費 一般5,000円、学生3,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を4枚配布します。

国立博物館メンバーズパス(4館共通)

発行日から1年間有効
年会費 一般2,000円、学生1,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。

ニュース会員

東京国立博物館ニュースの定期購読
年会費 1,000円(6冊分)

【特典】年6回東京国立博物館ニュースをご自宅に送付いたします。メンバーズプレミアムパスとの同時申し込みで100円割引。

*次号よりご送付希望の場合、締切は7月12日(水)です。

〇申込方法

1. 会員専用窓口

当館正門前の会員専用窓口で即日発行いたします(現金またはクレジットカード)。

2. ウェブサイト

専用申込フォームからお申し込みください(クレジットカードまたは郵便振替(振替用紙を送付))。

3. 郵便振替

- 振替用紙に①種別(友の会、プレミアムパス、4館共通、ニュース)、②区分(一般、学生)③氏名(ふりがな)、④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号、⑦年齢、⑧性別、⑨メールアドレス(メールマガジン希望者のみ)を通信欄にご記入の上、下記口座までお振替ください。

加入者名:東京国立博物館会員制度

口座番号:00140-3-791791

- 振込用紙の半券が領収書になります。有効期限終了まで保管してください。
- 振替手数料はお客様負担となります。
- ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

*一度収められた料金の払い戻しはいたしません。

*各種イベントのお申込みに際してご提供いただいた個人情報、当該目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

〇お問合せ

電話 03-3822-1111(代)総務課会員制度担当

*月曜～金曜日の9:30～17:00(土日・祝日は除く)

FAX 03-3821-9680

| | | |
|-----|--|----------|
| 1木 | 東 11:00 | 特別展「茶の湯」 |
| 2金 | 夜間開館 (21:00まで) 法 15:00 | |
| 3土 | 夜間開館 (21:00まで) 樹 11:00 本 14:00 ★ 11:00、13:00、15:00 | |
| 4日 | 時間延長 (18:00まで) 作 13:30 考 14:30 | |
| 5月 | 休館日 | |
| 6火 | 樹 11:00 | |
| 7水 | 藝「紅型ができるまで」15:30 本館19室 | |
| 8木 | 法 11:00 | |
| 9金 | 夜間開館 (21:00まで) 英 14:00 W「書体験」15:00~20:30 本館2階ラウンジ | |
| 10土 | 夜間開館 (21:00まで) 講「西アジアの発掘現場から一考古学が語る聖書の世界」13:30 平成館大講堂 W「書体験」15:00~20:30 本館2階ラウンジ | |
| 11日 | 時間延長 (18:00まで) W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ 法 13:00 | |
| 12月 | 休館日 | |
| 13火 | W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ | |
| 14水 | W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ 藝「紅型ができるまで」15:30 本館19室 | |
| 15木 | W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ 法 15:00 | |
| 16金 | 夜間開館 (21:00まで) 樹 11:00 W「書体験」15:00~20:30 本館2階ラウンジ G「四十八体仏入門」18:30 東洋館ミュージアムシアター | |
| 17土 | 夜間開館 (21:00まで) 樹 11:00 本 14:00 法 15:00 W「書体験」15:00~20:30 本館2階ラウンジ | |
| 18日 | 時間延長 (18:00まで) W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ 東 11:00 英 11:00 樹 11:00、13:00 法 14:00 考 14:30 | |
| 19月 | 休館日 | |
| 20火 | W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ G「尾形光琳筆『風神雷神図屏風』」14:00 本館地下教育普及スペース | |
| 21水 | W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ 藝「紅型ができるまで」15:30 本館19室 | |
| 22木 | W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ 本 14:00 | |
| 23金 | 夜間開館 (21:00まで) W「書体験」15:00~20:30 本館2階ラウンジ | |
| 24土 | 夜間開館 (21:00まで) 初夏東博寄席 13:30 平成館大講堂*1 法 13:30 W「書体験」15:00~20:30 本館2階ラウンジ | |
| 25日 | 時間延長 (18:00まで) W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ 法 13:00 影 15:00 初夏のコンサート 15:00 平成館ラウンジ*2 | |
| 26月 | 休館日 | |
| 27火 | W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ G「インドネシアのワヤン」14:00 東洋館13室 | |
| 28水 | W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ | |
| 29木 | W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ | |
| 30金 | 夜間開館 (21:00まで) W「書体験」15:00~20:30 本館2階ラウンジ 「リラックスヨガ in 表慶館」19:00*3 | |

| | | |
|-------|---|--|
| 1土 | 夜間開館 (21:00まで) 樹 11:00 本 14:00 W「書体験」15:00~20:30 本館2階ラウンジ 藝「紅型ができるまで」15:30 本館19室 ★ 11:00、13:00、15:00 | |
| 2日 | 時間延長 (18:00まで) W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ 作 13:30 考 14:30 | |
| 3月 | 休館日 | |
| 4火 | 【タイ】「煌めきのタイ~古典舞踊と音楽の世界」11:00、14:00 平成館大講堂 法 11:00 | 親子のギャラリー「びょうぶとあそび」 特別展「タイ ~仏の国の輝き~」 |
| 5水 | | |
| 6木 | 東 11:00 | |
| 7金 | 夜間開館 (21:00まで) 法 15:00 | |
| 8土 | 夜間開館 (21:00まで) | |
| 9日 | 時間延長 (18:00まで) ぷファミリーコンサート 13:00、15:00 平成館大講堂*4 法 13:00 | |
| 10月 | 休館日 | |
| 11火 | G「古墳時代の女子埴輪」14:00 平成館考古展示室 | |
| 12水 | | |
| 13木 | 法 11:00 | |
| 14金 | 夜間開館 (21:00まで) 英 14:00 G「狩野探幽の『鶯飼図』」18:30 本館7室 | |
| 15土 | 夜間開館 (21:00まで) 【タイ】シンポジウム「タイの仏教美術と王権」10:00 平成館大講堂 法 11:00 本 14:00 法 15:00 | |
| 16日 | 時間延長 (18:00まで) 東 11:00 英 11:00 法 11:00、13:00 考 14:00 考 14:30 | |
| 17月・祝 | 時間延長 (18:00まで) | |
| 18火 | 休館日 | |
| 19水 | | |
| 20木 | 法 15:00 | |
| 21金 | 夜間開館 (21:00まで) 樹 11:00 G「古代東地中海のガラス器」18:30 東洋館ミュージアムシアター | |
| 22土 | 夜間開館 (21:00まで) 法 13:30 | |
| 23日 | 時間延長 (18:00まで) 法 13:00 影 15:00 | |
| 24月 | 休館日 | |
| 25火 | | |
| 26水 | | |
| 27木 | 本 14:00 | |
| 28金 | 夜間開館 (21:00まで) 「トーハク BEER NIGHT!」16:00~20:30 平成館前庭*4 | |
| 29土 | 夜間開館 (21:00まで) W「トーハク劇場へようこそ!」10:00、13:30 講「古墳時代の石製宝器と儀器」13:30 平成館大講堂 「トーハク BEER NIGHT!」16:00~20:30 平成館前庭*4 | |
| 30日 | 時間延長 (18:00まで) 【総合文化展】トーハクキッズデー W「トーハク劇場へようこそ!」10:00、13:30 ★ 11:00、13:00、15:00 | |
| 31月 | 休館日 | (8/27まで) (9/3まで) |

【タイ】=特別展「タイ ~仏の国の輝き~」関連事業。詳細は本誌2ページ *1=有料イベント。詳細は本誌前号14ページ *2=有料イベント。詳細は当館ウェブサイトをご覧ください *3=事前申込制。詳細は本誌14ページ *4=詳細は本誌14ページ ★=トーハクくん&ユリノキちゃん登場。場所は本館前

- 講=月例講演会等、詳細は本誌12ページ(特別展関連事業については、本誌2ページ)
- G=ギャラリートーク、詳細は本誌12ページ
- W=ワークショップ、ファミリーツアー、詳細は本誌13ページ
- 影=託児サービス実施日(12:30~15:30、7月30日(日)は10:00~13:00、14:00~17:00) 事前予約制 有料
- 作=ボランティアによるアートスタジオ 事前申込制 詳細は本誌前号12ページ(6月4日(日)の申し込みは締め切りました)
- 本=ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所:本館1階エントランス
- 法=ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所:本館1階エントランス
- 影=ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館1階エントランス
- 樹=ボランティアによる樹木ツアー、集合場所:本館1階エントランス
- 考=ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:平成館考古展示室入口

- 茶=ボランティアによる応接館での茶会、集合場所:本館1階エントランス(9:30から集合場所で整理券配布、参加費500円、先着15名)
 - 法=ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所:本館1階エントランス(9:30から集合場所で整理券配布、先着18名)
 - 英=ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所:本館1階エントランス
 - 樹=ボランティアによるたてもの散歩ツアー、集合場所:本館1階エントランス
 - 近=ボランティアによる近代の美術ガイド、集合場所:本館1階エントランス
 - 刀=ボランティアによる刀剣・武士の装いツアー、集合場所:本館1階エントランス
 - 東=ボランティアによる東洋館ツアー、集合場所:東洋館1階エントランス(6月は「仏像の旅」、7月は「東洋館ハイライト」をご案内します)
 - 法=ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所:法隆寺宝物館エントランス
 - 藝=藝大大学院インターンによるギャラリートーク、詳細は本誌12ページ
- *屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。